

## 愛・地球博 理念継承エリア検討委員会

## 第3回委員会 資料

[1]	検討の前提	
1-1	公園全体計画と「アイデアのひろば」の位置づけ .....	1
1-2	博覧会の理念と成果の継承 .....	2
[2]	展開内容の検討	
2-1	基本方針 .....	3
2-2	アイデアのひろば ゾーニング .....	4
2-3	テーマゾーンの展開 .....	5
2-4	展開案 .....	7

愛知青少年公園計画策定において、公園の整備・活用の方針、ゾーニング及び各エリアの性格・利用イメージを設定した。「博覧会の理念と成果の継承の場」として性格づけた「アイデアのひろば」では、「博覧会を記念する展示施設」「博覧会記念樹の森」「博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン」を位置づける。

### ◆整備・活用の目標

新しい公園は、健康で精神的な豊かさと楽しさに満ち、県民と共に成長・進化し続ける21世紀型の公園～サスティナブル・パーク～を目指す。  
サスティナブル・パークでは、人々は広大なフィールドに身を置いて心と身体を開放し、楽しさを体感しながら、家族、仲間、地域、自然、環境などとの関係を再構築し、より良い関係を維持していく。そして、それは自分らしい生き方を大切に、豊かさを実感できる県民生活実現への取り組みとなるものである。

### ◆整備・活用の柱

- \*楽しく利用、親しまれ、安心安全な暮らしを守り育てる公園
- \*環境との共生を学び、日常生活につなげる公園
- \*県民参加と多様な交流で成長する公園

### ■ゾーニング



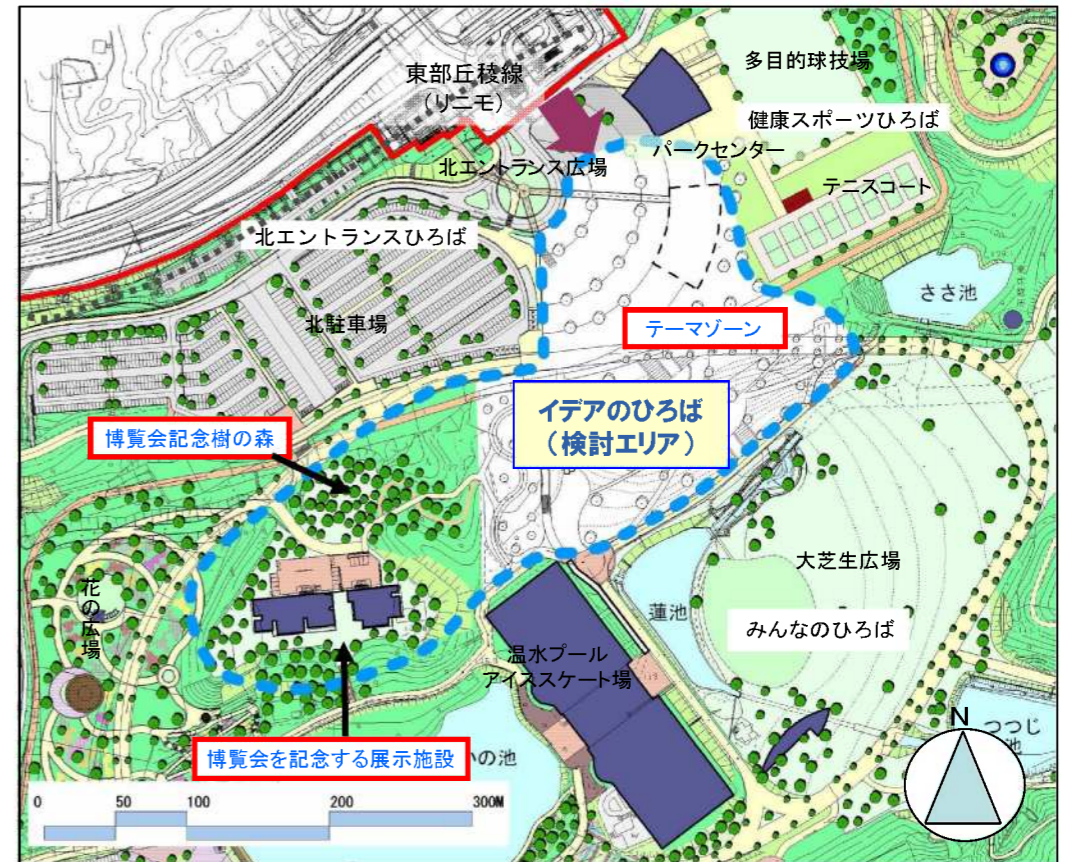
### ■各エリアの性格

エリアの名称	各エリアの性格
みんなのひろば	水と緑の中での多様な交流
こどものひろば	子どもの遊び・体験・レクリエーション
健康スポーツひろば	健康づくりスポーツを家族や仲間と楽しむ
北エントランスひろば 西エントランスひろば	エントランス
アイデアのひろば	博覧会の理念と成果の継承
林床花園	四季折々の樹林風景を楽しむ
日本庭園	伝統文化とのふれあい
親林楽園	自然学習野外活動
南部樹林地	緑地保全

### ◆アイデアのひろばの展開の方向

- 1) 博覧会を記念する展示施設  
【場所】 迎賓館・レセプションホール 【内容】博覧会参加国から贈呈された記念品等の展示
- 2) 博覧会記念樹の森  
【場所】 ロータリー館跡地 【内容】博覧会参加国による植樹セレモニーの記念樹を移植
- 3) 博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン  
【場所】 「アイデアのひろば」の東側「テーマゾーン」

### ■検討エリア



### ■航空写真 (2005年3月撮影)

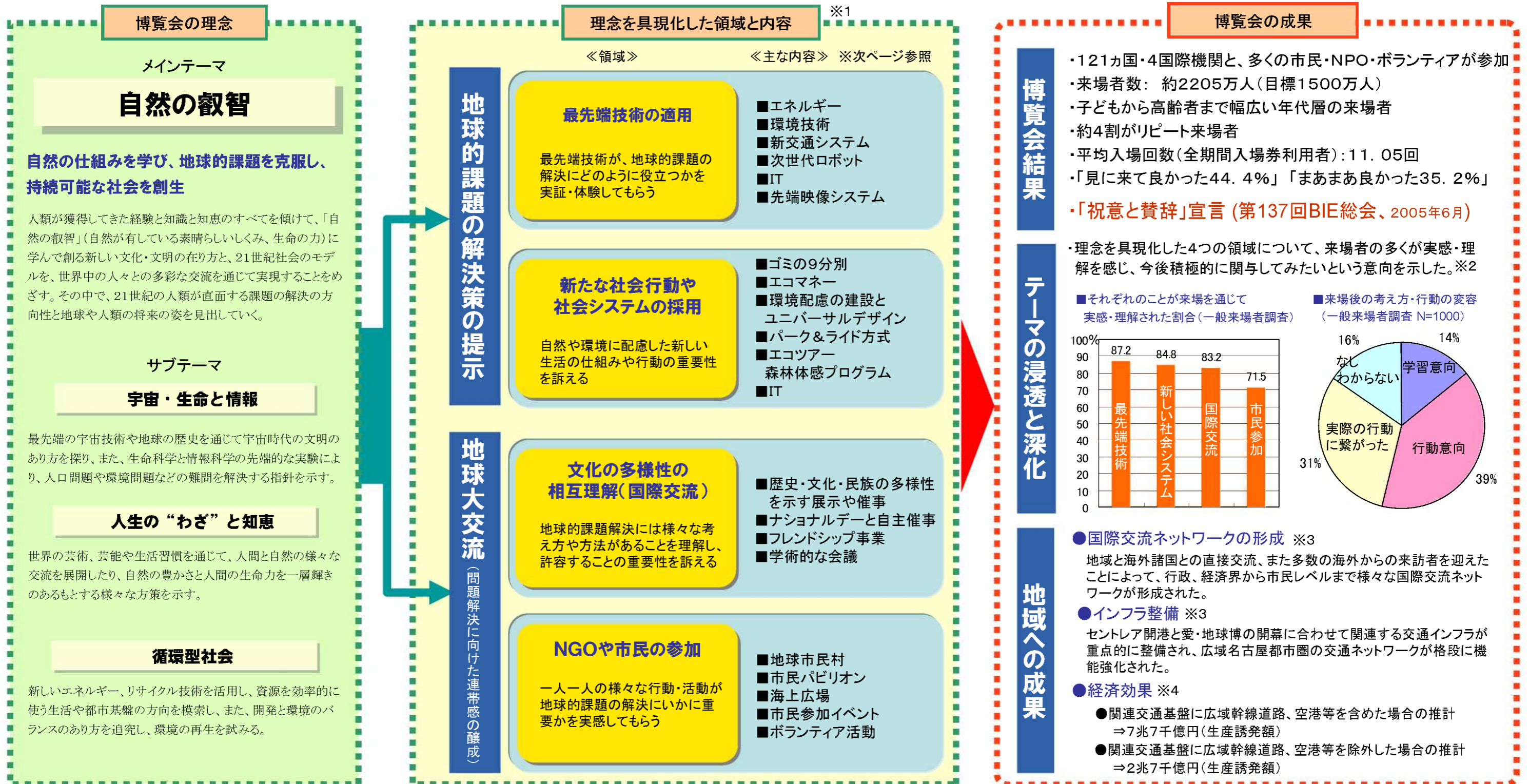


「愛・地球博」は、21世紀の新しい社会のモデルになる文明の創造と新しい文化の提案として「自然の叡智」をテーマに、人類が直面している地球的課題を克服し、持続的成長が可能な人類と自然が共生できる社会の方向を様々な方法で展開した。

博覧会には多くの国々や国際機関の他、市民・NGO/NPO・ボランティアなどが参画し、テーマの具現化と深化を行った。それらの展示や催事を通じて、来場者の多くがテーマに理解・共感を示し、考え方や行動にも大きな影響を受けた。

開催の成果としては、国際博覧会として世界から高い評価を受けるとともに、来場者数は当初計画を大きく上回る2,205万人を達成した。その8割(来場者WEB調査)から「良かった」という積極的な評価が得られた。

地域社会に対しても、国際交流ネットワーク形成、インフラ整備、経済波及効果などの面で大きな成果を残した。



※1 2005年日本国際博覧会「愛・地球博」のご報告(H17.10.20 財団法人2005年日本国際博覧会協会)および博覧会協会インターネット発表資料等より作成

※2 (財)2005年日本国際博覧会協会「テーマの理解度・浸透度アンケート調査」(平成17年10月)の結果  
 ※3 「魅力と活力溢れる中部の実現」(平成17年9月)社団法人中部経済連合会  
 ※4 「愛・地球博の経済効果に関する評価(概要書)」(平成17年11月)機JIFJ総合研究所

「アイデアのひろば」における展開の方針と具体的内容を以下のように設定した。また、それを踏まえ、テーマゾーンと記念ゾーンを配置した。

◆前提

◆委員の意見

◆展開の方針

◆配置ゾーン

●博覧会の理念

「自然の叡智」

自然の仕組みを学び、地球的課題を克服し、持続可能な社会を創生

「アイデアのひろば」

博覧会の理念と  
成果の継承の場

●整備・活用の目標

サステナブル・パーク

健康で精神的な豊かさと楽しさに満ち、県民と共に成長・進化する21世紀型の公園

- 市民参加の継続的な情報・交流センター機能(市民交流ショナルセンター)の整備
- グローバルな視点で「参加」、「対話」と「交流」を促進する市民参加記念フェスティバルを開催
- 「愛・地球の日」を制定し、世界と継続的に連帯
- 博覧会のパビリオン・イベントを再現するのではなく、博覧会の成果を継承する
- 海外の人々や留学生との交流体験

- 子ども達が科学技術を遊びながら体感する
- 環境学習ができる施設の整備
- 「持続可能な地球社会の創生」に向け、研究・情報発信する
- サステナビリティ、維持管理に配慮した整備
- 隣接する「パークセンター」、「みんなのひろば」との一体整備や利用
- 「自然との共生」を生かす先端技術や博覧会で賞賛された木材等の使用促進
- ゾーンの一体感に配慮した空間整備

- 楽しく見て記憶に残る展示
- 万博が開催されたことが一目でわかったり、人に感動を呼び起こす記念オブジェやモニュメント
- 一緒になにかできる場所を整備(万博ホールetc)
- 博覧会の余韻を生かす整備
- 博覧会を記念する樹木や草花を植樹し、博覧会の意義、体験価値を再生(記念植樹の森、ワンガリ・マータイ女史の記念樹、こいの池南側)

- 県民とともに創っていくとともに、公園を通したコミュニティを形成
- 産官学や市民、科学技術交流センターとの連携
- 周辺地域とのバランスを考え、他の施設との類似・重複しないようにする
- 博覧会にあわせて整備されたインフラ(道路、リニモ)を活用

交流

- ・国際、地域、県民による交流を促進する
- ・多様な体験交流の場を通じて子どもたちの社会性を養う場とする

環境

- ・生命の大切さを学ぶ環境学習の場とする
- ・持続可能な地域形成のシンボルとなる整備を行う

博覧会開催を記念

- ・国際交流の足跡を残す
- ・博覧会を共有した歴史を活かす

県民参加

- ・地域の人々(県民、企業、大学、行政など)と共に創り、成長する公園

テーマゾーン

- ・交流・環境をテーマに博覧会の理念と成果を継承

記念ゾーン

- ・博覧会を記念する展示や記念樹の森

## 2-2 アイデアのひろば ゾーニング

「アイデアのひろば」は、「テーマゾーン」「記念ゾーン」の2つの空間により構成する。公園の他のエリアや隣接する空間との整合、公園周辺地域における計画との関係を考慮しゾーン展開を図る。

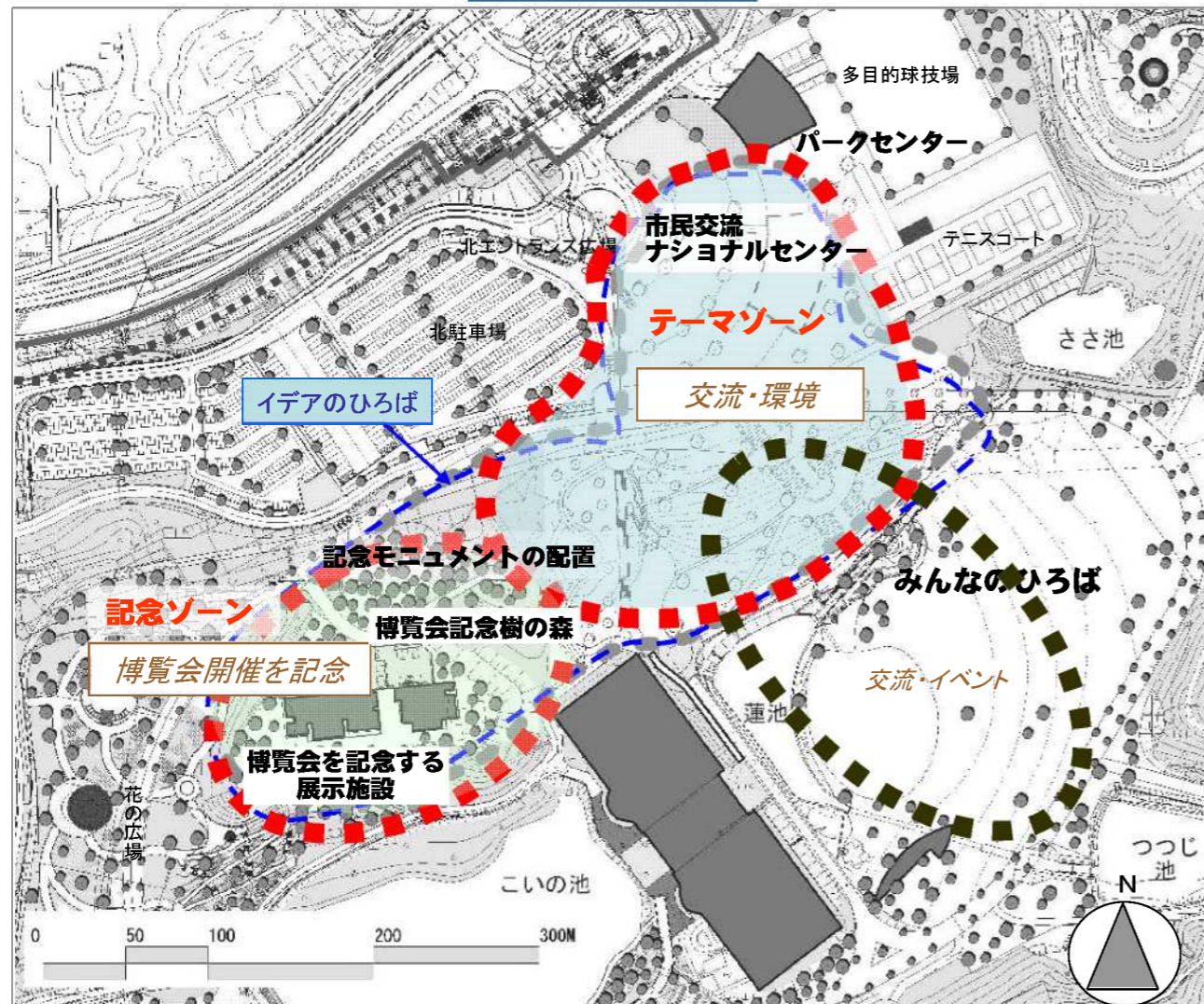
### ○テーマゾーン

- ・博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン
- ・「交流」と「環境」をメインテーマとして構成
- ・公園の入口となる北エントランス正面部に配置
- ・「みんなのひろば」における交流イベントなどと一体となった利用を展開

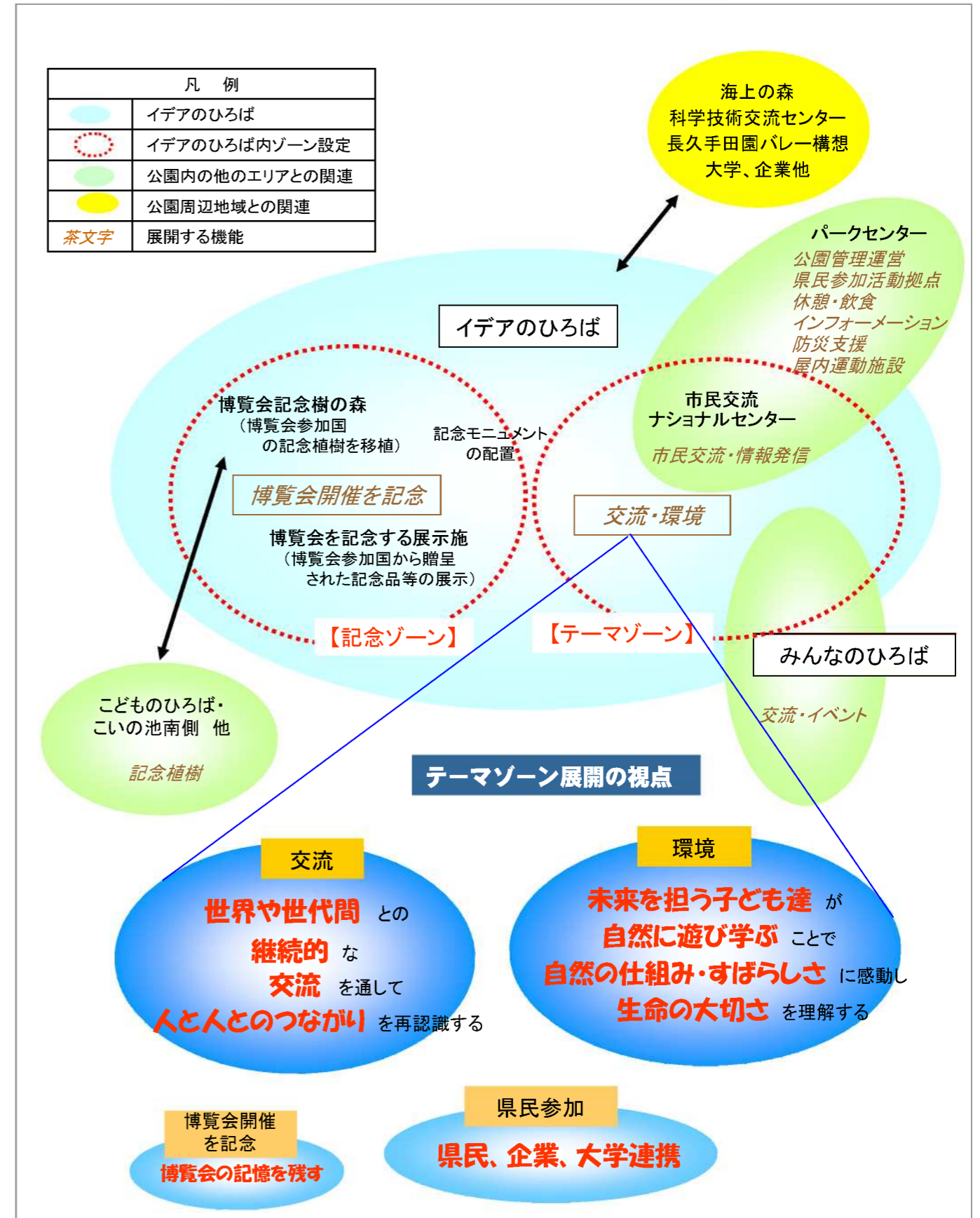
### ○記念ゾーン

- ・博覧会開催を記念するゾーン
- ・博覧会を記念する展示施設、博覧会記念樹の森
- ・迎賓館跡地周辺に配置

ゾーニング図

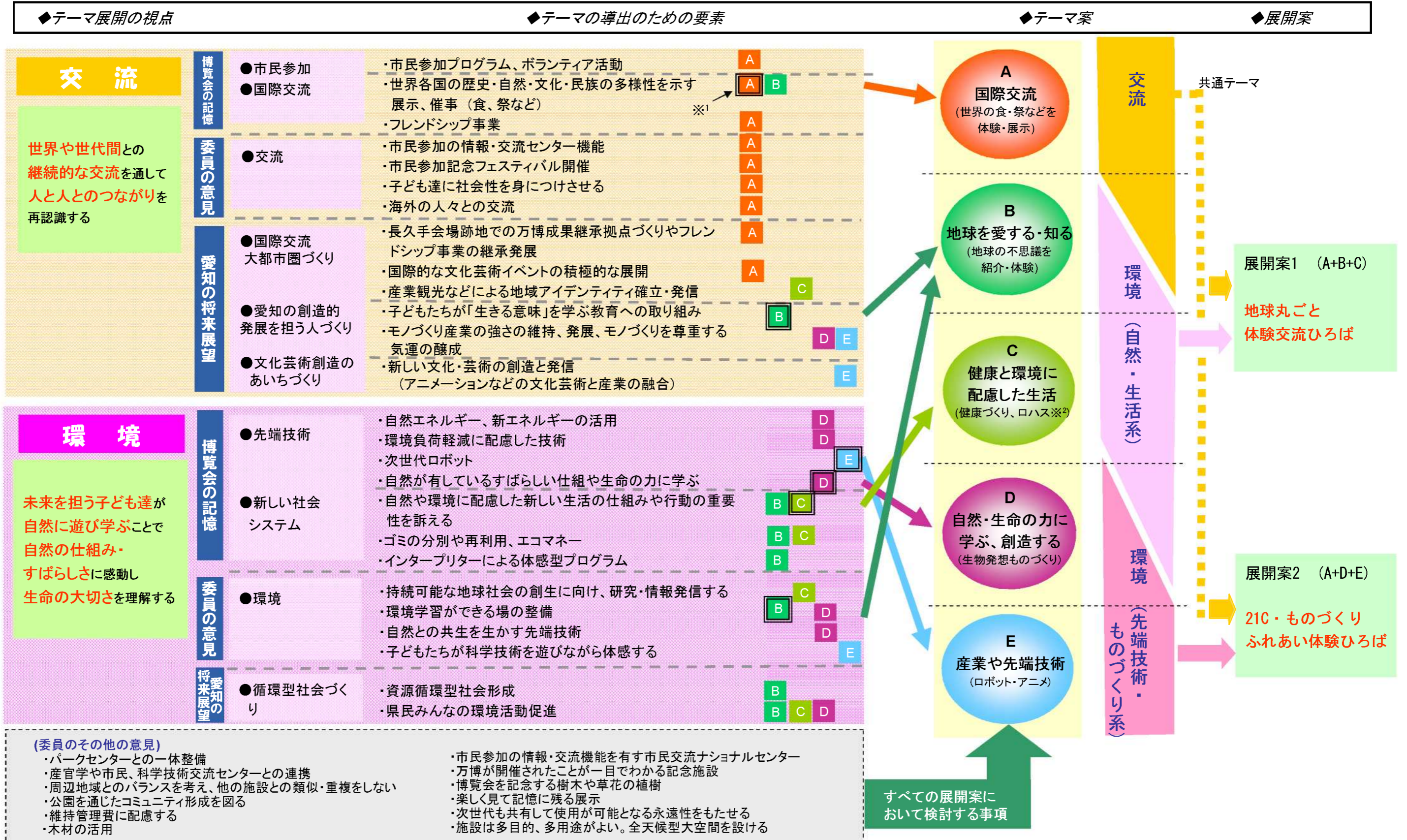


アイデアのひろば展開イメージと他エリアとの関連



## ①テーマの導出

先に示したテーマ展開の視点に基づいて、「博覧会の記憶」「委員の意見」「愛知の将来展望」から、テーマの導出のための要素を洗い出し、その中でもっともメインとなる要素から、右記に示すA～Eの5テーマ案を提案した。この5つのテーマ案の方向性を整理すると、概ね、「交流」と「環境(自然・生活系)」「環境(先端技術・ものづくり系)」の3つに区分できる。そのため展開案は、「交流」と「環境(自然・生活系)」をあわせたプラン(展開案1)と、「交流」と「環境(先端技術・ものづくり系)」をあわせたプラン(展開案2)の2案を提案する。(展開案はP.7～8を参照)



※<sup>1</sup> □ : 各テーマ導出にあたってメインとなる要素  
 ※<sup>2</sup> ロハス(LOHAS):【Lifestyles of Health and Sustainability】健康で持続可能なライフスタイル

### ③空間構成

テーマゾーンは、公園入口となる万博会場駅周辺から大交流の中心となる大芝生広場の間に位置し、公園の顔となる重要な空間である。

#### 1) テーマゾーン

テーマゾーンは、ゾーンの性格、敷地状況、周辺ゾーンとの関係から以下の3つの空間により構成する。空間構成にあたっては、万博会場駅から大芝生広場までのつながりに配慮した構成としていく。また、高台にあるエントランス部から大芝生広場への眺望にも配慮する。

##### ア) エントランス周辺部

###### ● エントランスを兼ねたひろば空間

- ・万博会場駅・北駐車場に隣接し、公園エントランスを兼ねた、公園の顔となるひろば空間。
- ・テーマ展開機能と連動した利用。

##### イ) テーマゾーンの中央部にある平坦地

###### ● 複合型のテーマ展開フィールド

- ・アイデアのひろばの中央にあり、まとまりのある平坦地を活用して、博覧会を継承する複合型のテーマ展開フィールドとする。
- ・愛・地球博の精神を継承するNPO、NGO、県民、市民活動等市民参加を主体とした「対話と交流」を促進するフェスティバルを開催。

###### ● 「市民交流ナショナルセンター」の配置

- ・世界的な市民参加の情報・交流センター機能を有す「市民交流ナショナルセンター」を配置。

###### ● 公園の園路ネットワークの拠点、公園情報の発信の場

- ・エントランスやアイデアのひろばの記念ゾーン、大芝生広場など、他の隣接するエリアをつなぐ空間であり、この空間を通して、各エリアに放射状に連絡動線が配置。
- ・わかりやすく公園情報を提供する場。

##### ウ) 大芝生広場に面した緩い斜面地

###### ● 斜面を生かした分散型のテーマ展開フィールド

- ・緩やかな斜面を活用した分散型のテーマ展開フィールド。
- ・大芝生広場における交流イベント利用との連続性に配慮。
- (景観のつながり、ユニバーサルデザインに配慮した連絡動線など)

#### 2) 隣接エリアとの連携

##### ● パークセンター

- ・公園管理運営の拠点となる「パークセンター」と世界的な市民参加の情報交流拠点である「市民交流ナショナルセンター」は、本公園における市民参加の核となる施設であり、それぞれの機能分担を図りながら連携をとった運営管理、施設整備を行う。

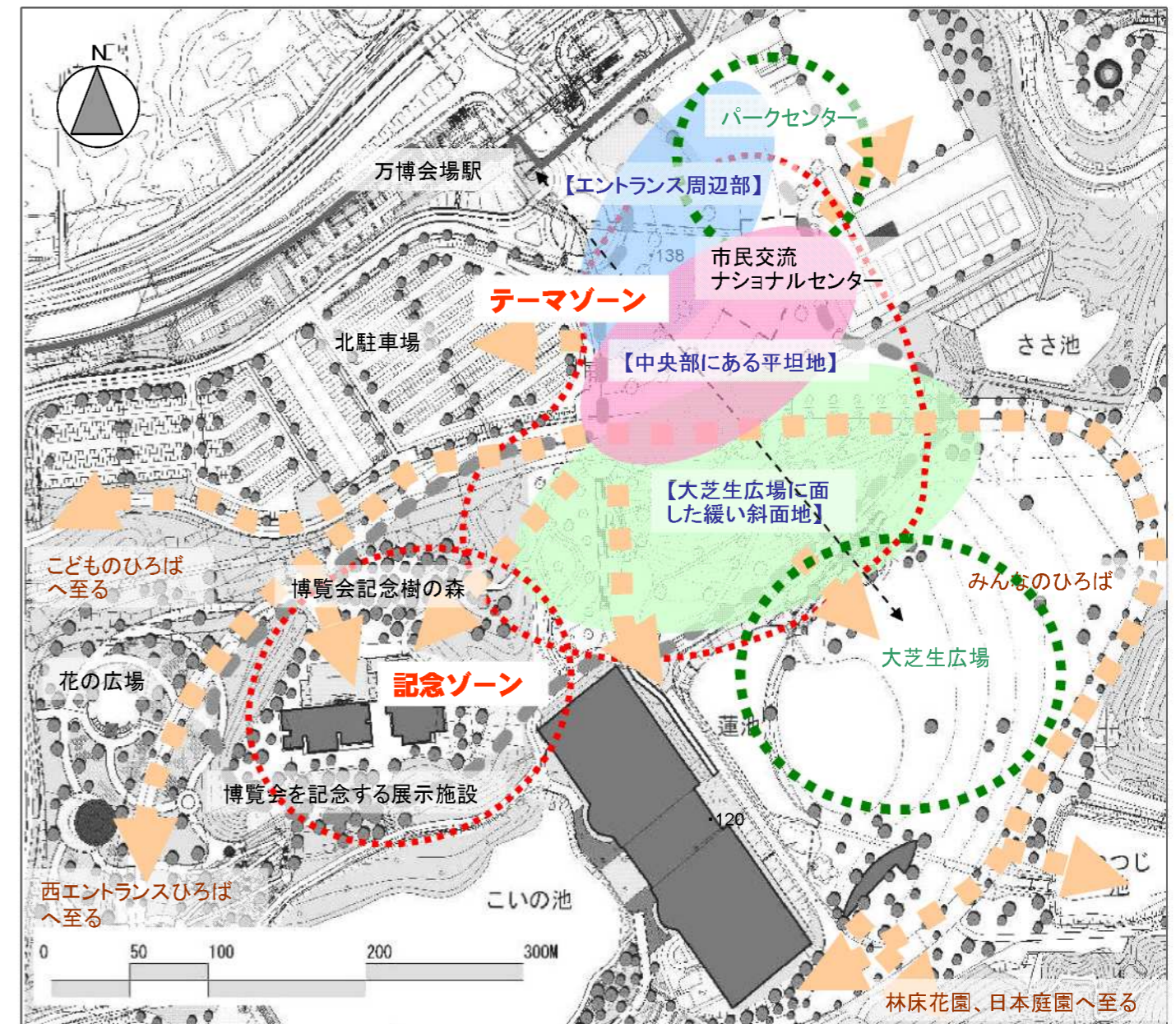
##### ● みんなのひろば(大芝生広場)

- ・大芝生広場は、テーマ展開拠点で構成されるソフトプログラムと連動して、大規模な県民交流イベントの会場として利用する。

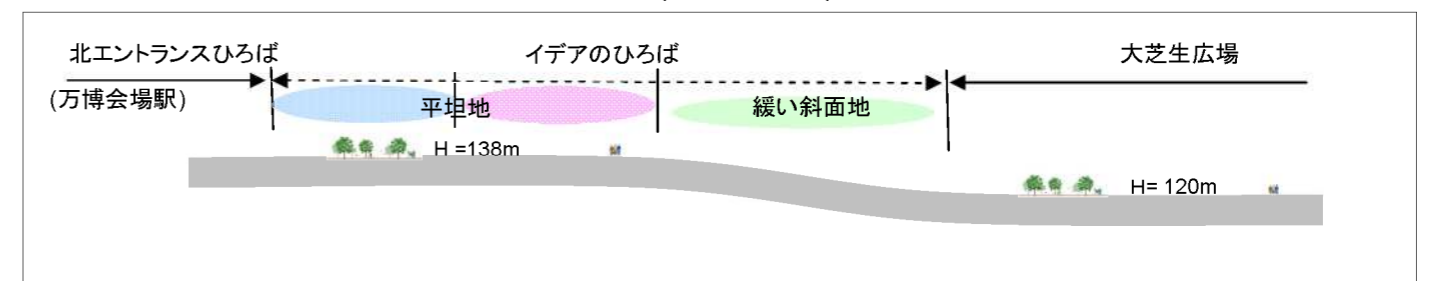
##### ● 公園内のその他のゾーン、施設

- ・公園内にあるその他のゾーン、施設での環境や健康づくりなどのプログラム展開についても、県民参加をベースにアイデアのひろばにおけるプログラムと相互に連携を図り実施していく。

### テーマゾーンの空間構成



■ 万博会場駅から大芝生広場にかけてのイメージ断面(上図の破線部)



1

## 地球丸ごと体験交流ひろば

地球や世界への関心を高めてもらう様々な体験交流の場を提供し、健康で持続可能なライフスタイルへのきっかけづくりを、展示、プログラムを連携させて展開

### テーマのコンセプト

#### ●博覧会で生まれた多種多様な国際交流(食・祭など)の継承、発展

博覧会で生まれたたくさんの交流を発展させ、継続的なものにしていくために、万博記念イベントや世界の食、祭の体験イベント、各種国際大会などを開催します。また、子どもたちの運営による遊びや公園利用にかかわる各種プログラムを展開し、子どもたちの社会性を養います。

#### ●子どもたちの地球や世界への関心を高める体験交流の場

地球上の不思議な自然現象や動植物の生態などの展示や、それらを題材とした様々な体験イベントを通して、子どもたちに地球や世界への関心をもってもらい、日常生活と地球、世界へのつながりを身近に考えるきっかけを作ります。

#### ●健康で地球に優しいライフスタイルにかかわる情報発信

健康で持続可能なライフスタイル(=ロハス※)に関する情報提供の場を構築します。そこでは、環境に配慮しながら、自分も健康になっていくという地球と自分の愛し方を学び、それぞれのライフスタイルへと反映させていくための、“気づきの場”、“学びの場”を提供します。



■ラブ・アース・フィールドでのプログラム例



・世界の祭イベント



・子ども運営ミニ公園  
(子ども会議により運営プログラム内容を決定)

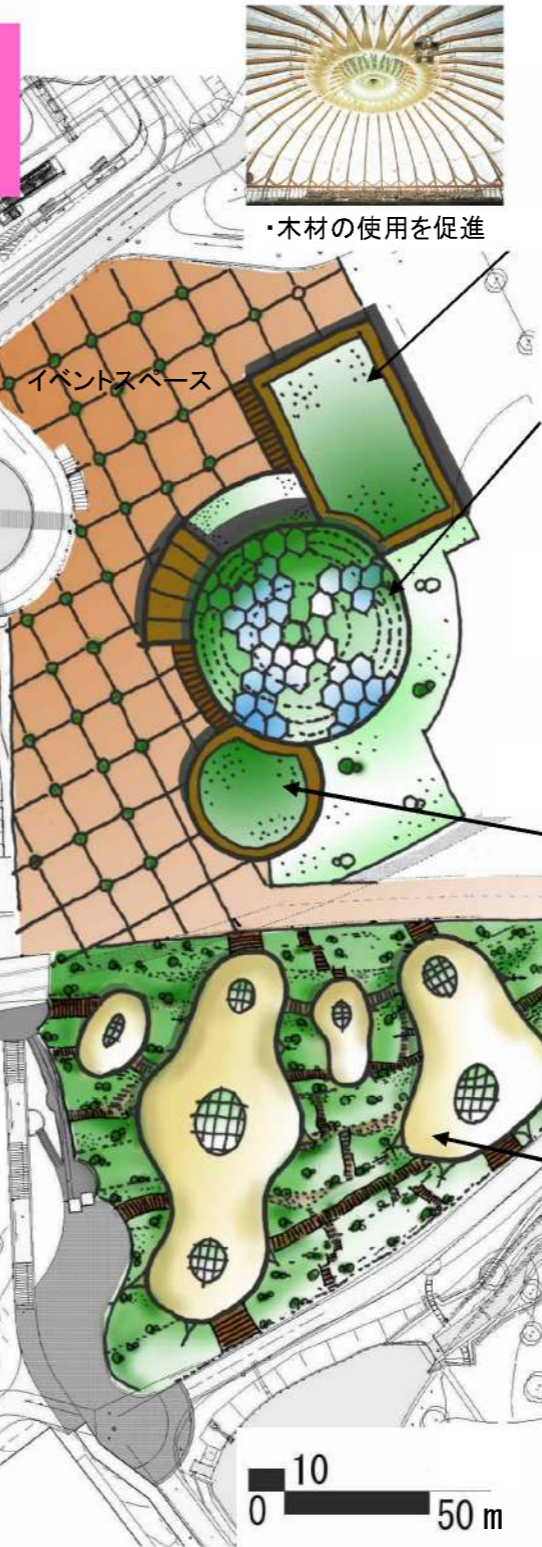


・ペインティング遊び



・自然アート製作

・わらのブロックでつくった家づくりを体験、断熱性、吸音性、遮音性、難焼性、耐震性がある



・木材の使用を促進

●市民交流ナショナルセンター  
・市民の情報・交流拠点  
・市民交流・情報発信・国際交流

●パークセンター  
・公園管理運営拠点  
・公園管理運営  
・インフォメーション  
・休憩・飲食  
・県民参加活動拠点  
・防災支援・屋内運動施設

●ラブ・アース・フィールド  
・多目的・多用途の屋根つき空間、各種国際大会や世界の祭イベントなどの開催の場  
・世界の遊び、民族衣装、健康づくり住居体験など、世界から身近な生活文化までを題材に多様な各種プログラムを展開

・子ども運営ミニ公園  
・フリーマーケット  
・ペインティング遊び  
・自然アート製作  
・プレイリーダー体験  
・わらでつくった家づくり体験

●ロハス情報発信館  
・ロハスに関する情報の提供や発信、イベント開催  
・ロハス情報発信  
・持続社会に適した商品販売  
・地元の人によるロハス講座開催  
・県民参加フリーマーケット  
・おじいちゃん、おばあちゃんの知恵講座

●ラブ・アース・ラボ  
・地球上の不思議な生態などの展示や体験  
・多目的・多用途展開空間  
・宇宙・地球の不思議  
地震、雷、嵐、温暖化、オーロラ現象…  
・動物の不思議  
マンモス・恐竜の絶滅、天敵、動物の家づくり…  
・植物の不思議  
光合成の仕組み、食虫植物、環境浄化植物、屋久杉…  
・鳥の目・虫の目で環境体験  
・世界の環境体験ブース、スコール体験、寒さ体験、熱帯体験…



・オーガニックレストランで食事



・健康づくりの場(ヨガ)



・膜構造の全天候空間



・おじいちゃんの知恵講座



・地球不思議体験空間(オーロラ)



・植物の不思議  
(光合成の仕組み利用のひまわりづくり)



・植物の不思議(屋久杉)

※ ロハス(LOHAS)【Lifestyles of Health and Sustainability】  
健康で持続可能なライフスタイル



2

# 21C・ものづくりふれあい体験ひろば

自然発想によるものづくり・アニメ・ロボットを通じた交流を推進

## テーマのコンセプト

### ●博覧会で生まれた多種多様な国際交流(食・祭など)の継承、発展

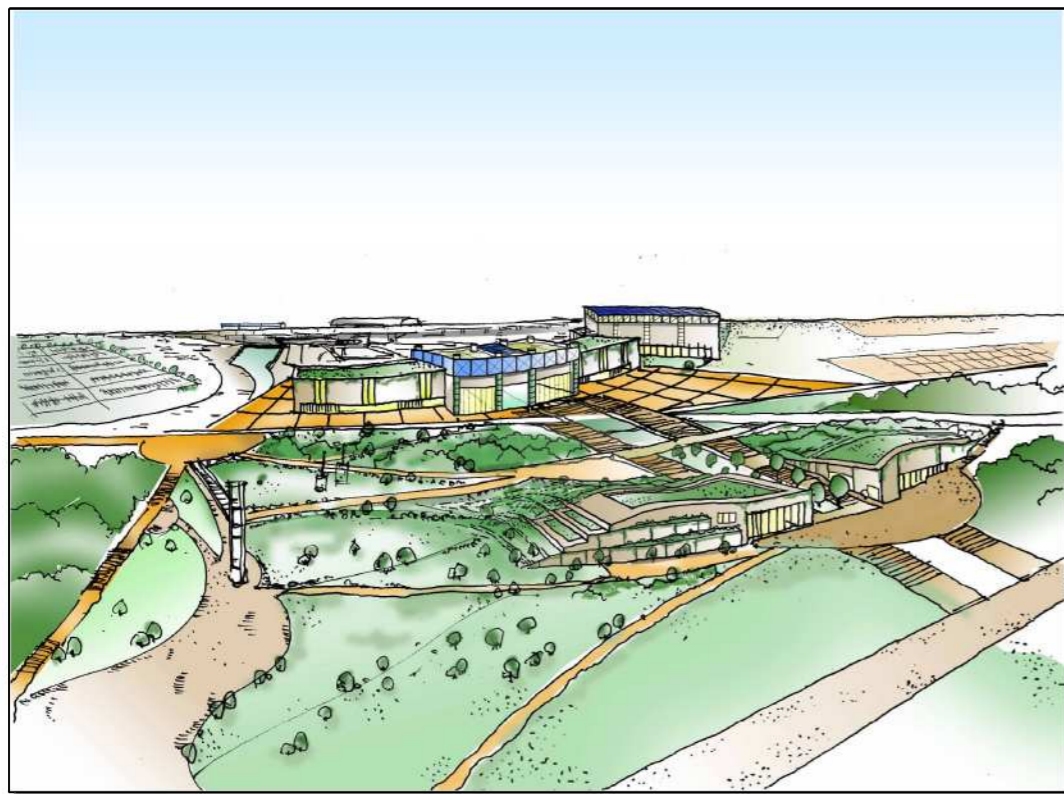
博覧会で生まれたたくさんの交流を発展させ、継続的なものにしていくために、万博記念イベントや世界の食、祭の体験イベント、各種国際大会などを開催します。

### ●自然発想によるものづくりから自然のすごさ、生命の偉大さを体験

自然や生物から学び、それらをヒントにしたものづくりを紹介、体験できるようにします。それによって、子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらうとともに、自然のすごさ、生命の偉大さを感じてもらいます。また、ものづくりを通して世界へ交流の輪を広げていきます。

### ●文化・先端技術を通じた交流により、「ものづくり」への心を育てる

新たな日本文化として世界から注目されている「アニメ」をテーマに、世界的な情報発信の拠点としていきます。また、「ものづくり愛知」において、先端技術の集結である「ロボット」を通して、青少年に科学技術に興味をもたせ、「ものづくり」への心を育てていきます。



### ●交流棟

- ・公園での各種交流、イベントの会場となる施設
- ・イベントのテーマに合わせたレストランを企画
- ・各種コンテスト、各種プログラム開催ホール
- ・ワンディシェフシステム
- ・地元の食材を使った料理



・ロボットコンテスト大会  
・各種国際大会 など

### ●ハイオミメティックミュージアム

- ・最先端生物模倣技術の体験・展示
- ・みる、聞く、触る、嗅ぐ、味わうの五感展示
- ・自然科学講座開催
- ・生物力応用技術の研究



・オナモミ(ひっつき虫)を模倣したマジックテープ



・カワセミのくちばしを模倣し騒音減少に役立つ

### ●実験体験フィールド

- ・バイオメティックに関する植物や、水や土の自然資源などについて技術開発や実験フィールド
- ・生物模倣技術の紹介
- ・バイオファーム  
バイオ技術によって創られた作物体験、おばけかぼちゃ・キャベコン
- ・生物模倣ギャラリー



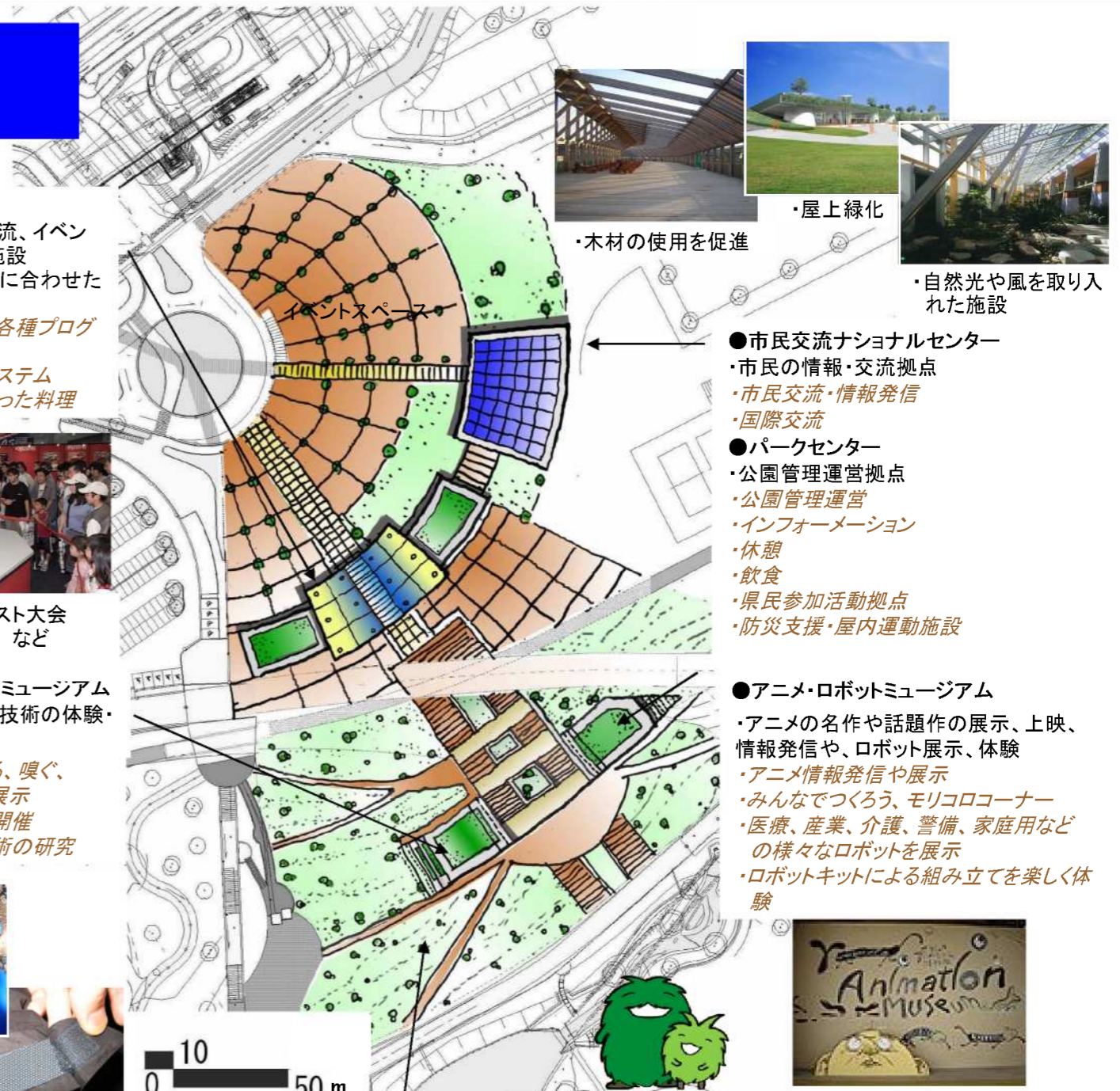
・ロボットづくりワークショップ



・博覧会ではヤマムラアニメ博物館が展示されていました



・博覧会で活躍したロボットたち



・木材の使用を促進

・屋上緑化

・自然光や風を取り入れた施設

### ●市民交流ナショナルセンター

- ・市民の情報・交流拠点
- ・市民交流・情報発信
- ・国際交流

### ●パークセンター

- ・公園管理運営拠点
- ・公園管理運営
- ・インフォメーション
- ・休憩
- ・飲食
- ・県民参加活動拠点
- ・防災支援・屋内運動施設

### ●アニメ・ロボットミュージアム

- ・アニメの名作や話題作の展示、上映、情報発信や、ロボット展示、体験
- ・アニメ情報発信や展示
- ・みんなでつくろう、モリコロコーナー
- ・医療、産業、介護、警備、家庭用などの様々なロボットを展示
- ・ロボットキットによる組み立てを楽しく体験

・モリコロパークで新しいモリコロ物語をつくろう